

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公開番号】特開2011-1363(P2011-1363A)

【公開日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-135054(P2010-135054)

【国際特許分類】

A 01N 43/653 (2006.01)

A 01N 37/20 (2006.01)

A 01P 3/00 (2006.01)

B 27K 3/50 (2006.01)

【F I】

A 01N 43/653 C

A 01N 43/653 J

A 01N 43/653 G

A 01N 37/20

A 01P 3/00

B 27K 3/50 B B A A

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

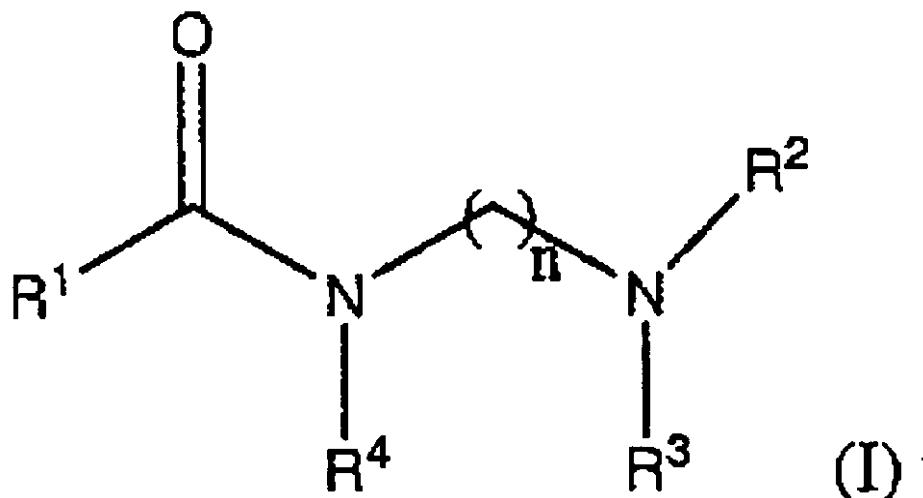
【請求項1】

微生物による攻撃および／または破壊から工業材料を保護するための組成物の使用であつて、

a) 少なくとも1種のアゾール、および

b) 式(I)の少なくとも1種のアミドアルキルアミン、それらの塩および／または酸付加化合物、

【化1】



[式中、R¹は、場合により置換されていてもよいC₁～C₄₀-アルキルまたはC₂～C₄₀-アルケニルを表し、R²、R³およびR⁴は、互いに独立して水素またはC₁～C₈-アルキルを表し、そしてnは、1～6の整数を表す]

を含む組成物の使用。

【請求項2】

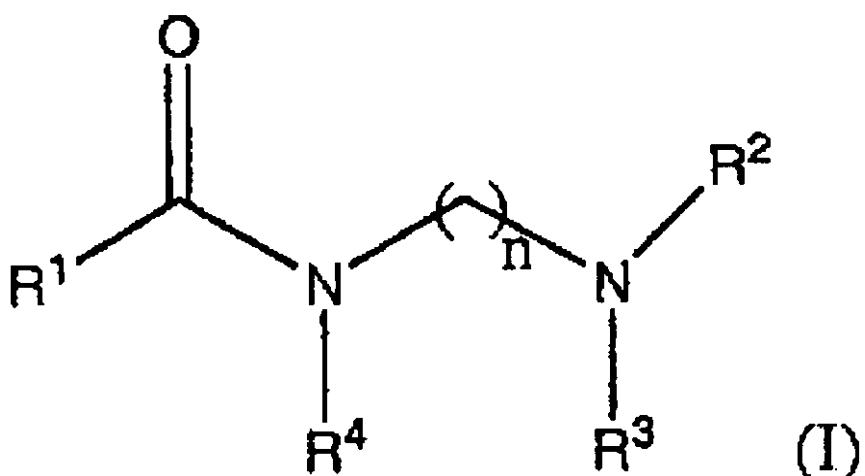
組成物であって、

a 1) 以下のものからなる群より選択される少なくとも1種のアゾール：アザコナゾール、ビテルタノール、ブロムコナゾール、シプロコナゾール、ジクロブトラゾール、ジフェノコナゾール、ジニコナゾール、エポキシコナゾール、エタコナゾール、フェンブコナゾール、フルキンコナゾール、フルシラゾール、フルトリアホール、ファーコナゾール、ヘキサコナゾール、イミベンコナゾール、イブコナゾール、ミクロブタニル、メトコナゾール、ベンコナゾール、プロピコナゾール、プロチオコナゾール、シメコナゾール、テブコナゾール、テトラコナゾール、トリチコナゾール、およびウニコナゾール、ならびにそれらの金属塩および酸アダクト；

a 2) 場合によっては、トリアジメノールおよびトリアジメホンからなる群より選択される1種のアゾール；

b) 式(I)の少なくとも1種のアミドアルキルアミン、それらの塩および／または酸付加化合物、

【化2】

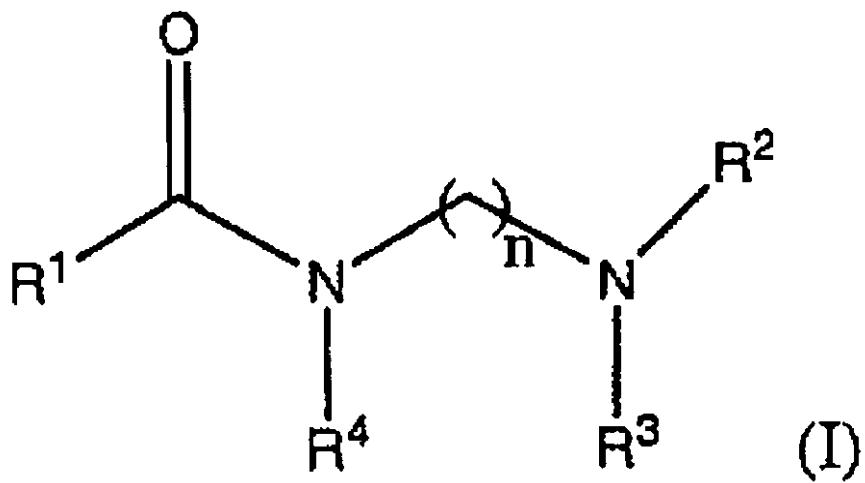


[式中、R¹は、場合により置換されていてもよいC₁～C₄₀-アルキルまたはC₂～C₄₀-アルケニルを表し、R²、R³、およびR⁴は、互いに独立して水素またはC₁～C₈-アルキルを表し、そしてnは、1および6からの整数を表す]を含む、組成物。

【請求項3】

工業材料、特に木材、木製品、または木材／プラスチック複合材料であって、
 a)少なくとも1種のアゾール、および
 b)式(I)の少なくとも1種のアミドアルキルアミン、それらの塩および／または酸付加化合物、

【化3】



[式中、R¹は、場合により置換されていてもよいC₁～C₄₀-アルキルまたはC₂～C₄₀-アルケニルを表し、R²、R³、およびR⁴は、互いに独立して水素またはC₁～C₈-アルキルを表し、そしてnは、1～6の整数を表す]、を含む工業材料。

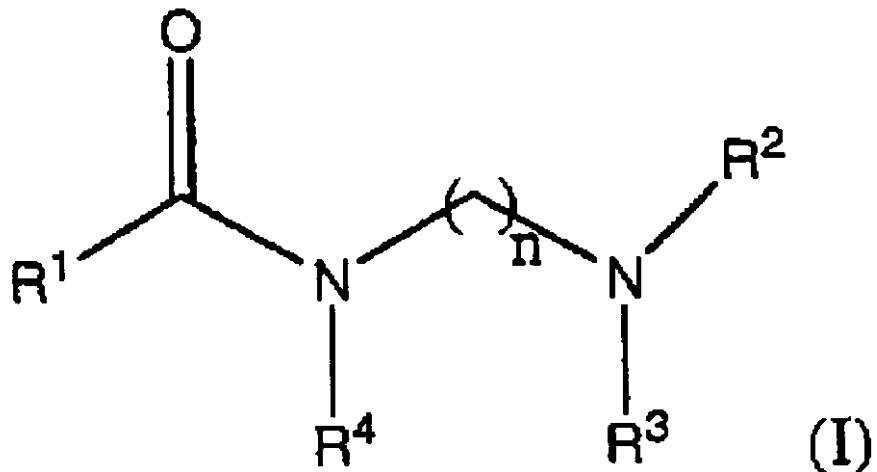
【請求項4】

微生物による攻撃および／または破壊から工業材料を保護するための方法であって、

a) 少なくとも 1 種のアゾール、および

b) 式 (I) の少なくとも 1 種のアミドアルキルアミン、それらの塩および／または酸付
加化合物、

【化 4】



[式中、R¹は、場合により置換されていてもよいC₁～C₄₀-アルキルまたはC₂～C₄₀-アルケニルを表し、R²、R³、およびR⁴は、互いに独立して水素またはC₁～C₈-アルキルを表し、そしてnは、1～6の整数を表す]、

を含む少なくとも 1 種の組成物を、前記微生物またはその生息地に作用させることを特徴
とする、方法。